

平成 18 年度 第 4 回 日本都市計画学会九州支部幹事会議事録

1. 日 時：2006 年 10 月 10 日（火） 15:00～16:30
2. 場 所：福岡アジア美術館 あじびホール 博多リバレイン 8 階
3. 出席者：井上、黒瀬、中村、梶田、小林、橋本、有馬、天本、梶原、日暮、田代、内田(晃)、玉田、吉武、松永、寺町、吉田

4. 議 事：

1. 前回議事録確認
2. 理事会報告
3. 国際フォーラムについて
4. 萩島先生国際交流賞受賞記念講演会について
5. 支部だよりについて
6. 次年度研究分科会募集について
7. 今後のスケジュール
8. その他

5. 議事内容

(1) 前回議事録確認

- ・添付議事録に基づき、前回の会議内容を確認した。

(2) 理事会報告（井上）

別途資料に基づき、9 月 19 日開催の総会報告が行われた。主な内容は以下のとおり。

1) 議決事項

① 会員入退会

- ・減少幅は縮小したが、会員増強になお一層の努力が必要
- ・永年会員有資格者（7 名）へのルール説明と打診

② 研究委託

- ・委託研究取扱規程の改正案を承認
- ・3 件の受託を承認

2) 報告協議事項

① 学会全体

- ・公益法人改革に伴い、H20 年より当学会は暫定的に「特別社団法人」に移行。その後、5 年の間に 5 つの選択肢から 1 つを選択する必要がある。
- ・事務局長公募に対して 3 名の応募があり、1 名を試行期間を経て採用の方向
- ・会費自動振り込み制度を今年度末より実施

② 常設委員会

(総務企画委員会)

- ・社会連携小委員会：連携企画書の報告

- ・学会誌DVD発行案内と予約の受付開始
- ・都市計画CPD：認定委員会の代替機能として幹事会を設置（内容のはっきりしたプログラムは幹事会で認定）。3年後の制度見直し時に加盟団体の賛同が得られるよう、内容の充実が課題。

(編集委員会)

- ・263号から267号までの内容紹介

(学術委員会)

- ・学術論文発表会：11月18日（土）、19日（日） 177編、6会場
- ・2007年度発表会：工学院大学新宿キャンパス
11月17,18日（第1候補）、24,25日（代案）

(事業委員会)

- ・月例懇話会（11/8）：日本橋高架橋の除去（500名収容）
- ・見学会（10/20）：多摩ニュータウン
- ・都市計画セミナー（1/23,24）：人口減少時代のまちづくりーコンパクトシティー
（九州から熊本市の講演）

(情報委員会)

- ・書籍探訪の執筆者：北（北海道支部）の支部長から順に担当
（九州は次期支部長の担当となる）

(国際委員会)

- ・シンポ2006：120名（CPIJから40名）
- ・シンポ2007：横浜市で8月16日（木）～18（土）を承認

(支部報告)

- ・各支部からの報告

(その他)

- ・会員増の活動について約30分議論→特に結論はなし
- ・学生会員増のための設計コンペの提案があり、議論が集中

(3) 国際フォーラムについて（梶田）

- ・10月21日（土）、22日（日）に開催される国際フォーラム「維持可能な都市のための地域デザイン・田園都市レッチワーズに学ぶ」の内容紹介、準備状況報告及び出席依頼が行われた。

(4) 萩島先生国際交流賞受賞記念講演会について（有馬）

幹事会に引き続いて行われる記念講演会の概要説明が行われた。

(5) 支部だよりについて（有馬）

- ・9月提出済みの支部だよりは、佐賀県伊万里市を題材とし、まちづくりレポートとして本部に提出。この内容について有馬幹事より説明。

(6) 次年度研究分科会募集について（外井）

- ・19年度新規研究分科会募集について審議した。
- ・昨年と同様の様式で募集及び審査を行うことを承認した。なお、日程は担当幹事に一任することとした。

(7)今後のスケジュール

- ・次回幹事会 12月1日(金)

(8)その他

- ・事務局移転についての経過報告(井上)
- ・現在、各方面に相談をもちかけており、ある程度の目処が立った時点で検討委員会を立ち上げ、正式な検討に入る予定である旨の報告が行われた。